

# 大島高等学校 農林科通信

2014年2月発行 第9号

今年度もあと残りわずかとなりました。振り返ってみますと東京国体、台風災害、70周年記念行事と大きな出来事が数多くあった1年でもありました。更に農林科においては、高島屋との提携、特別販売会、課題研究発表会、日本森林学会へのポスター発表、各コンテストへの参加など少ない人数ではありますが、多くのイベントで活躍してきました。中には農林科でしか経験できない事もたくさんあります。農林科生徒はこうした農林科ならではの経験を持ち味とし、将来の進路実現に向けて取り組んでいます。今回はその中でも、70周年行事内で行われた「課題研究発表会」についてを中心に、農林科生徒の活躍をお伝えしていきたいと思えます。

## 第9号特集！ 課題研究発表会！ in 島高フォーラム

今年度の課題研究発表会は、70周年行事の午後に行われた島高フォーラムの中で、家政科と合同で併合科課題研究発表会と言う形で行われました。会場は体育館で全校生徒はもちろん、大勢の来場者や一般の来場者の方々に向かって1年間研究した成果を1人10分の持ち時間の中で発表していきます。司会進行は下級生が勤め当日は併合科生徒が作り上げた大舞台となりました。



### 研究発表テーマ「ニワトリの飲料水による鶏卵への影響」

私は鶏卵の品質を向上することを目的として1年間研究をしてきました。鶏卵の品質は白身の濃い部分(濃厚卵白)の盛り上がりが高ければ高いほど良い卵とされています。そこでバターミルクを与えた高タンパク飲料水と希釈したお酢を鶏に与える実験をしました。高タンパクの飲料水では、卵の濃厚卵白をより濃厚にすることをねらっています。そして希釈したお酢では、酸によるタンパク質の凝固作用を用いた、濃厚卵白を固くすることを目的とした実験をしました。高タンパクの飲料水は一般的に牛乳があげられますが、それでは費用が高くなってしまいうため、またバターを製造するときに排出されるバターミルクを有効利用できないかと考え、(株)大島牛乳に依頼をし、この実験をするためにバターミルクを頂きました。希釈したお酢については試験区を3種類もつけ、0.5%から2%、10%に設定しました。この設定については、昨年の夏休みに就業体験で静岡の養鶏農家に行ったときに、この濃度的なお酢をヒナに与えながら育すう管理しているのを見て参考にしました。以上の飲料水をニワトリに与え、2週間後に卵の検査をします。この2週間というのは、中心部から卵黄が形成され、卵殻で覆われるまでの期間です。それで、それぞれの結果は、水道水を与えている鶏の鶏卵に比べると良い数値を得ることができました。しかし今回の実験では使用した鶏が少数だったので、サンプルが少なすぎました。また、実験した季節が寒い時期だったので鶏卵の品質に気温の影響もあるのではないかと思います。サンプルを多量に採取して、さまざまな気温の温度帯で実験をやればより精度の高い結果やデータが得られるかと思えます。

この研究を通じて、自分で計画を立てて実験をやらなければならないのですが、私は計画を立ててやる事ができませんでした。私はこれから農業とは別の仕事に就くのですが、この研究の失敗を活かして、さまざまなことに挑戦しながら頑張っていこうと思えます。

最後に、この実験に協力してくれた(株)大島牛乳さん、就業体験でお世話になった寺田さんをはじめ、いままで支えてくれた皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

農林科3年 河本 知也

## ～ 70周年式典会場装飾 ～

大島高校は2月9日に創立70周年を迎えました。昭和19年2月9日に学校設立を許可され、同年4月10日「東京都大島六ヶ村学校組合立東京都大島農林学校」としてスタートしました。そして、現在に至るまで農林科の歴史はずっと続いています。

この度の式典にあたり農林科の持つ技術を集結させた装飾を、会場入り口に施しました。圃場から掘り起こされた梅の木の花は前日の大雪にも耐え、70周年を祝うようほころんでいました。また、会場内では大島高校が誇る校内の椿園にて咲いている、華やかな椿たちが来場されたお客様を暖かく迎えました。



梅の木を人力で掘り根巻きをし運搬。松や竹、椿、水仙、葉牡丹、万両を添えて。材料はすべて島高産。

## さくらプロジェクト経過報告

昨年度に自分たちで接いだ桜苗を定植しました。2年生は裏門から校内の通路沿いに夢待桜を、3年生の八重紅大島は裏門からフェンス沿いに1人1本ずつ植えられました。10年後、この桜が桜並木となることを思うと夢がふくらみます。ご期待下さい！！



このさくらプロジェクトの活動を日本森林学会で発表することとなりました。全国組織の専門団体の中で発表できるという貴重な経験を農林科1、2年生が行ってきます。

### 編集後記

今年度は例年以上に大変な年でもありました。そんな中でも生徒達は前向きに日々の活動に取り組んで来ました。また多くの方々を支えられた3年生が3月1日に卒業式を迎えます。連携している教育機関をはじめ、農林科の教育活動にご協力頂いた皆様には多大なる感謝を申し上げます。来年度も大島高校農林科をどうぞよろしくお願ひします

### おめでとう！

フラワーカメラコンテスト



農林科3年の河本君が見事

特別賞に入賞しました。

3年間数多くの椿を見続け、その目でより美しい花を見分ける力が付いた結果です。

04992-2-1431

<http://www.osima-h.metro.tokyo.jp>

農林科ホームページ公開中

是非ご覧ください